

平成26年度の重点課題

- ・幼少期より運動・スポーツ離れの傾向にある
- ・体育の時間の更なる充実と、家庭での取組について指導する必要がある
- ・「早寝」「早起き」「朝ごはん」の大切さを家庭へ働きかけていく必要がある
- ・男女とも2学年にわたり「敏捷性」(反復横とび)の記録が県・全国平均値より下回っている
- ・男女とも2学年にわたり「全身持久力」(20mシャトルラン)の記録が県・全国平均値より下回っている
- ・1学年において、男女とも「投力」(ハンドボール投げ)の記録が県・全国平均値より下回っている

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ・「各自持っている最大限の体力を発揮していく」といった呼びかけを行った(意識づけ)
- ・各種目の測定方法に慣れさせるための練習
- ・各家庭で強化できる体カトレーニングの紹介
- ・保健体育の授業の補強運動(毎時実施)
- ・部活動における体力づくりに向けた取組の継続
- ・体力向上を意識させる言葉かけ、指導(特に1年生男子及び運動を苦手としている生徒には丁寧に)
- ・課題となる「敏捷性」、県全体で課題となっている「投力」に取り組んでもらうよう小中連

新体力テストの結果(県平均値(平成26年度)・全国平均値(平成25年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	25.79	30.22	43.19	46.89	71.96		8.49	191.09	18.61	38.62	第1学年	22.30	23.81	46.74	41.88	56.49		9.16	173.33	10.75	45.90
第2学年	30.63	31.93	47.35	48.87	78.16		8.00	205.99	21.29	44.85	第2学年	26.21	29.57	59.06	49.32	60.76		8.71	182.63	14.16	59.22
第3学年	38.41	39.22	59.30	57.90	93.47		7.83	220.76	23.44	56.59	第3学年	27.67	30.10	59.29	49.22	60.60		8.57	189.52	14.96	60.51

県平均値かつ全国平均値未満

新体力テストの結果(県平均値(平成27年度)・全国平均値(平成26年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	25.79	30.22	43.19	46.89	71.96		8.49	191.09	18.61	38.62	第1学年	22.30	23.81	46.74	41.88	56.49		9.16	173.33	10.75	45.90
第2学年	30.63	31.93	47.35	48.87	78.16		8.00	205.99	21.29	44.85	第2学年	26.21	29.57	59.06	49.32	60.76		8.71	182.63	14.16	59.22
第3学年	38.41	39.22	59.30	57.90	93.47		7.83	220.76	23.44	56.59	第3学年	27.67	30.10	59.29	49.22	60.60		8.57	189.52	14.96	60.51

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- ・1学年が男女とも「敏捷性」(反復横とび)の数値が下回っており、1年女子は(50m走)と(ハンドボール投げ)が平均値を下回っている
- ・2年、3年男子では(50m走)(ハンドボール投げ)が下回っている
- ・2年男子で20mシャトルランが平均値より下回っている

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- ・保健体育科授業における補強運動の継続(全身持久力、巧緻性、敏捷性を身に付けることを意識して)
- ・部活動における体力づくりに向けた取組の継続
- ・体力向上を意識させる言葉かけ、指導(特に1年生男子及び運動を苦手としている生徒には丁寧に)
- ・課題となる「敏捷性」、県全体で課題となっている「投力」に取り組んでもらうよう小中連携を行う
- ・意欲や強い気持ちの必要となる「持久力」(20mシャトルラン)では、挫折しそうになっている生徒への言葉かけを工夫し、持っている持久力の全てを出し切らせる

平成28年度の目標値

- 男女ともに、反復横とび・50m走を県平均以上にする
- 男女ともに、体力合計D判定を昨年度より減らす
- 男女ともに、体力合計E判定を0%にする